

◆生野区情報トピック◆

いまざとライナー(BRT)をご利用ください

大阪市とOsakaMetroは、地下鉄今里筋線延伸区間を基本に、平成31年4月1日から社会実験をはじめます。

運行ルート・停留所

長居ルート(赤) あべの橋ルート(青)



あべの橋

いまざとライナー
運賃

大人:210円 小児:110円
(いまざとライナーのみの乗車は全区間均一)
(ICカードで乗継割引あります)

長居西二丁目

地下鉄長居

神路公園

地下鉄今里

中川西公園前

大池橋

田島五丁目

杭全

今川二丁目

中野中学校前

湯里六丁目

運行時間帯

6時台~23時台

運行間隔

平日の7時台~18時台
長居ルート20分間隔
あべの橋ルート20分間隔
今里~杭全間については、概ね
10分間隔(休日15分間隔)となります。

敬老パス

大阪市が発行する敬老乗車証は、1乗車50円。
いまざとライナーと地下鉄、いまざとライナーと
大阪シティバス乗継も50円。

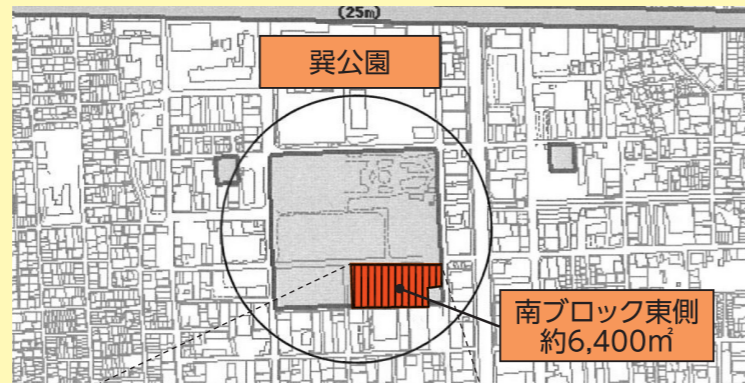
巽公園の拡張工事について

スケジュール案

2018年度 設計
2019年度~ 工事

位置図

生野区巽西1・2丁目



南ブロック東側
約6,400m²



ロープクライマー

- ロープクライマー
- 鉄棒

運動遊具コーナー

多目的広場 ●ベンチ

緑の丘

●健康遊具



健康遊具



緑の丘

※画像はイメージです。

幼児から
高齢者まで
幅広い年齢層が
利用できる
公園づくり

- 子どもの健康増進や体力づくりに役立つ運動遊具
- 高齢者が利用できる健康遊具
- ウォーミングアップなどのサブ公園
- イベントなどの補助広場
- 起伏を体感できる緑の丘

周回園路

2019年 2月号 vol.37 市政報告

問い合わせ先 武直樹市民協働事務所 mail: take@take-naoki.com
〒544-0015 大阪市生野区巽南1-2-3 ☎06-6753-6714

大阪市会議員

たけ ケアマネジャー
社会福祉士
武なおき

武なおき プロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会職員として7年間、生野区の福祉のまちづくりに携わる。NPO法人いくの市民活動支援センターを立ち上げ、社会福祉士・ケアマネジャーとして、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。2011年(平成23年)4月より大阪市会議員。現在2期目。子ども3人と妻の5人暮らし。



顔が見えるまちづくりで
すべてのひとに
出番と居場所を!!



いいね!
お願いします
Facebook

市民の皆さんのくらしの声

現場の声に応えたい 武なおきの

2期8年の実績

4年前にたてた約束

「議員は何をしているのか
分からない」に応えたい

「生野区の地域の特性・特徴にあった
まちづくり」を進めたい

皆さんと対話しながらつくる
政策で課題を解決し、生野区の弱みを
強みにしていきます。

どこで何をどうしたかが見える
議員になります。

こうした現状を背景として生野区の課題は複雑多様化しています

孤立死の増加、子育て世帯の孤立化、ひととひととのつながりの希薄化、まちを支えてくれる活動主体の減少、担い手不足、後継者不足、これらの課題解決に向けて役所、住民の皆さん、企業、NPOそれぞれができることを出し合って解決していく必要があります。すべての人に出番と居場所ができるように、顔が見える関係をつくりながら、一緒に取り組める課題をコラボレーション、協働しながら弱みを強みに加えて解決につなげてきました。そのためには、対話による政策づくりが必要です。

どうしたのか

約束実現のための具体的な方法(詳細は中面)

- (1) 対話による政策づくりにこだわり、皆さんが参加参画できる場を定期開催してきました。
- (2) 対話による政策づくりから、課題解決につながる活動・事業を創出してきました。
- (3) 議員・議会の見える化として、政務活動費の公開・議員定数の見直し等を行いました。



未来への責任 市民が主役の改革を進める武なおきの成果

ステップ1 (1) 対話による政策づくりにこだわり、皆さんが参加参画できる場を定期開催してきました

4年前の約束 対話による政策づくり

- ①自治フォーラムおおさかの開催(12回)
- ②地域ごとの座談会の開催(38回)
- ③空き家空き地活用、地域共生ケアの推進、子どもの居場所づくり、NPOとの連携会議(200回以上)
- ④定期的な街頭市政報告会の開催



参加者でワークショップ



自治フォーラムおおさか

自治フォーラムおおさかでは、私たちのおおさかのまち、これからどうしていく?をテーマにこれまで12回のフォーラムを開催。取り上げた内容は「大都市制度」「空き家空き地活用」「子育て支援」「地域共生型地域福祉」「若者の地域参加」「就労支援」と身近な話題や、仕組みや制度といった固いお話までいろいろ。また、地域ごとに38回座談会を開催。あわせてのべ1000人以上の方に参加いただきました。さらに、日々テーマごとの会議にも200回以上参加し、皆さんの声やアイデア、知恵を「政策」としてまとめました。

自治フォーラムおおさか政策集 [検索](#)

皆さんの声やアイデアを政策としてまとめました

ステップ2 武直樹が取り組む5つの仕組みづくりと5つの重点政策

●5つの仕組みづくり

- ①市民の参加がさらに進む仕組みづくり
- ②空き家の利活用を促進
- ③はたらく支援の仕組みづくり
- ④お互いさまの地域づくり
- ⑤共生と人権を包括する仕組みづくり

●5つの重点政策

- ①子ども応援は最重点の課題
- ②すべての親子が安心して暮らせるまちへ
- ③都構想でなく「下町成長戦略」を思い描いています
- ④分割の特別区でなく「分権の総合区」に賛成です
- ⑤震災時に時限爆弾になりかねない老朽インフラ・公共施設をどうするか

取りまとめた政策を大阪市に要望します

ステップ3 予算要望書

毎年、各局と政策懇談し、予算要望書という形で大阪市に要望しています。12月27日に平成31年度の予算要望を行いました。

武直樹 予算要望 [検索](#)



財政局長へ予算要望書提出

(3) 議員・議会の見える化として政務活動費の公開・議員定数の見直し等を行いました

4年前の約束 政務活動費の公開、議員定数の見直し、議会報告の定期開催、対話による政策づくり



高校生と大阪市会議員の意見交換会

- 平成27年5月交付分から、政務活動費に係る収支報告書及び領収書等の写しをインターネット公開しています。

大阪市会 政務活動費 [検索](#)

- 「高校生と大阪市会議員の意見交換会」開催
- 定期的な街頭市政報告会の開催(区内各駅、大池橋交差点)
- 定期的な議会活動報告(市政報告)の発行(今回37号目)
- テーマごとの勉強会、座談会の開催、テーマごとの会議(250回以上)

ステップ4 (2) 対話による政策づくりから、課題解決につながる活動・事業を創出してきました

すべての人に出番と居場所ができるように、顔がみえる関係をつくりながら、一緒に取り組める課題をコラボレーション、協働しながら弱みを強みに変えて解決につなげていきます。

空き家 × 高齢者の孤立の課題 × 子育て世帯の孤立の課題 × 密集市街地の防災の課題

4年前の約束 地域の皆さんがつながれる居場所づくり・防災空地の補助金を創出・雇用創出

- 空き家活用プロジェクト会議支援
様々な専門職が連携して活用事例を蓄積(実績4件)
- 空き家を活用した居場所づくり
空き家活用の高齢者や児童デイの起ち上げ、運営支援
区内各所に様々な形態の居場所創出
- 防災空地への補助金制度できました。
(活用事例:市内3件中2件生野区)



生野区林寺防災空地



空き家から助産院へ

空き店舗・空き家 × 地域のつながりの希薄化 × 商店街の集客

4年前の約束 アーティスト・若手起業家の活動の場づくり



つるのはしマルシェ



- 鶴橋本通り商店街でのマルシェの定期開催
- 空き店舗で居場所の定期開催
- 空き店舗でお化け屋敷など子ども自らがつくり、参加できるイベント応援
- 桃谷地域等でのアーティスト・若手起業家の活動の場、発表の場の創出支援

地元で働きたい × 人材不足 × 多様な雇用の創出

4年前の約束 地域の雇用創出

- 生野区で地域密着の福祉就職フェアの開催
- 人手不足の企業と若者や女性などの多様な働きたいをトータルに応援



生野区民センターで地域密着の就職フェア

多様な活動主体が抱える課題の整理・政策提案とその実現



本会議で討論

- ヘイトスピーチ対処条例
- NPO連絡会からの政策提案
- 多文化共生プラットフォーム構築
- 中学校給食学校調理方式へ移行
- 地域共生型福祉サービスの実現
- 地域包括ケアシステム構築に向けた多職種協働の連携の仕組みづくり
- 市民発案の企画、取組支援などその他多数

- 2017年2月議会で議員定数を86から3減として83としました。議員定数検討会に参画し、議案提案者となりました。

大阪市会議員定数及び各選挙区選出数に関する

条例の一部を改正する条例案

提出者

大内啓治	黒田富士	岡崎太
北野妙子	杉田忠裕	土岐恭生
瀬戸一正	山中智子	武直樹